



2022年7月26日

各 位

東京都千代田区外神田三丁目14番10号  
株 式 会 社 ハ ブ  
代 表 取 締 役 社 長 太 田 剛  
( コ ー ド 番 号 : 3 0 3 0 )  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 高 見 幸 夫  
電 話 番 号 0 3 - 3 5 2 6 - 8 6 8 2

(訂正)「2023年2月期第1四半期決算補足説明資料」の一部訂正について

当社は、2022年7月14日に発表した開示資料について、記載内容の一部に訂正すべき事項が判明したため、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 訂正の箇所

「2023年2月期第1四半期決算補足説明資料」のうち、10ページ「業績サマリ」の「4財務の状況」の内容に表記の誤りがありましたので、訂正を行うものです。

### 2. 訂正の内容（訂正箇所は下線）

<訂正前>

純資産 2,525 千円、自己資本比率 32.2%（前年▲1.4%）

有利子負債 3,784 千円（前期末差▲77百万円）

<訂正後>

純資産 2,525 百万円、自己資本比率 32.2%（前年▲1.4%）

有利子負債 3,784 百万円（前期末差▲77百万円）

以 上



株式会社ハブ

東証PRIME3030

2023年2月期第1四半期

決算補足説明資料

2022年7月14日

- ① 2023年2月期第 1 四半期の取り組みについて
- ② 2023年2月期第 1 四半期の実績について
- ③ 2023年2月期第 2 四半期について

# 2023年2月期第1四半期の取り組みについて

**創業50年ビジョン（2022-2030）**  
**心を豊かにするリアルコミュニケーションの場として**  
**PUBが社会において重要な役割を果たし続けている**

創業50年ビジョン（2022-2030）目標	中期経営計画（2022-2024）主な具体的実行施策
<p>出店ターゲットを47都道府県に拡大し                      厳選した200店舗体制を構築する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本全国を対象に出店優先エリアの選定 ⇒15店舗出店（117店舗）</li> <li>出店試算表の改訂</li> <li>ローコストパッケージの開発・確立</li> <li>新ブランドの確立</li> </ul>
<p>積み重ねてきた価値を磨き続けると共に                      新たな感動体験を創造する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単品メニューの掘り下げ（フィッシュ進化）</li> <li>アプリ内容の充実・機能の追加</li> <li>ハブマネー売上構成比の拡大</li> <li>コラボ取り組み拡大（新規取り組み、SNS等）</li> </ul>
<p>業界の常識を覆す「最高の処遇」と                      「多様な働き方」を達成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事制度改定（年収800万店長 約10名輩出）</li> <li>ハブ大学カリキュラム見直し</li> <li>有給取得促進</li> </ul>
<p>地域に愛される店舗を運営し                      持続可能な社会の実現に貢献する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厨房機材及び商材を精査し、食品ロス低減を推進</li> <li>メニューラインナップ見直し</li> </ul>
<p>企業価値を継続的に高め、                      魅力的な株主還元を実現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライム市場 上場維持計画管理</li> <li>コーポレートガバナンスコード対応</li> <li>会社認知度向上（ファンブックの作成）</li> </ul>

ネアカ  
のびのび  
へこたれず

中期経営計画（2022-2024）「復活」フェーズの初年度  
当社が大切にしているマインドを年度方針に据える

- ・まん延防止等重点措置全面解除
- ・ブランドメニュー改定
- ・キャンペーン好調
- ・ミクシィグループとの取り組み

・まん延防止等重点措置全面解除

地域別	店舗数	営業制限要請
東北	2店舗	要請なし
関東	80店舗	
東海	4店舗	3月21日に終了 (東京都では4/25～5/22 リバウンド警戒期間)
関西	14店舗	
九州	2店舗	3月6日に終了
合計	102店舗	

当第1四半期においては3月21日まで、仙台を除く出店地域にてまん延防止等重点措置が発令しており、制限のある中の営業であった。措置終了後においても、一部地域にてリバウンド警戒期間が継続。5月下旬に全店的に制限のない営業が再開した。



## ・グランドメニュー改定



人気の価格帯のメニューラインナップを増やし、通販で好評であったオリジナルクラフトビール『HUB CRAFT』を店舗でのレギュラーメニューに追加。

付加価値向上を図ると同時に、原材料コスト高騰に対し価格戦略において機動的に対応。

## ・キャンペーン好調



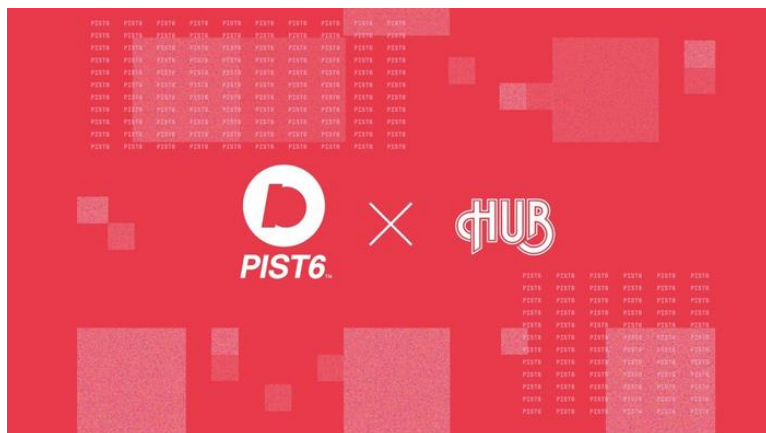
## JAMESON～奏でてつなげる～キャンペーン

4月27日（水）～5月27日（金）  
 限定メニュー&JAMESON限定スペシャルグッズプレゼントキャンペーン

コロナ禍で休止していたキャンペーン販売を再開。オリジナルのハイボールカクテルメニューやコラボレーション企画が奏功し、ご好評をいただいた。

## ・ ミクシィグループとの取り組み

様々なスポーツコンテンツを軸に、オンラインサービスユーザーとオフラインの店舗顧客を共有していく施策を展開。



## HUB/82×netkeiba コラボドリンク販売!

販売期間：5月1日(日) - 6月30日(木)

 <p>600円(税込) HAPPY HOUR 420円(税込)</p>	 <p>660円(税込) HAPPY HOUR 460円(税込)</p>	 <p>660円(税込) HAPPY HOUR 460円(税込)</p>	 <p>600円(税込) HAPPY HOUR 420円(税込)</p>
<p><b>優駿ハイボール</b> 優駿たちの頂点を決める熱きダービーをイメージした赤いハイボール</p>	<p><b>ネットケイバ 2022春GIスペシャル netkeibaのブランドカラーをレモンとミントでアレンジしたピーチサワー</b> 暑い日も喉ごし爽やか!</p>	<p><b>アップルミント ジュレップ</b> ダービーといえばミントジュレップ! HUBオリジナルレシピでアレンジ</p>	<p><b>櫻の女王 ベリーソーダ</b> ベリーの音符踊る楽しいローアルコールカクテル</p>

# 2023年2月期第1四半期実績について

## 1 売上の 状況

段階的に全店営業再開。前年四半期は緊急事態宣言下であり、前年比497.6%

## 2 店舗の 状況

当第1四半期期間においては、出店と退店共になし  
既存店の売上回復に注力

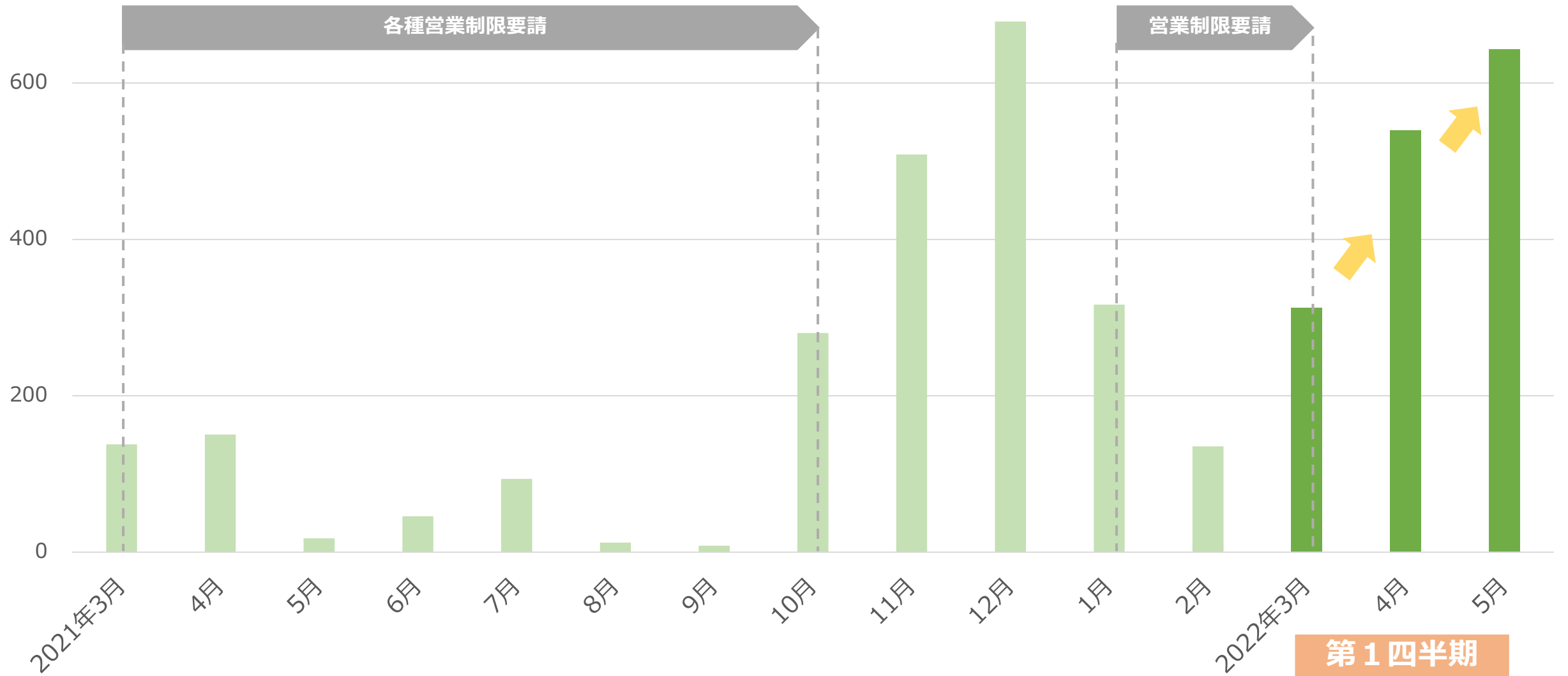
## 3 業績の 状況

【前年同期差】  
営業利益+100百万円、経常利益+94百万円  
特別利益▲708百万円、特別損失▲460百万円  
当期純利益▲171百万円

## 4 財務の 状況

純資産2,525百万円、自己資本比率32.2%（前年▲1.4%）  
有利子負債3,784百万円（前期末差▲77百万円）

(百万円)



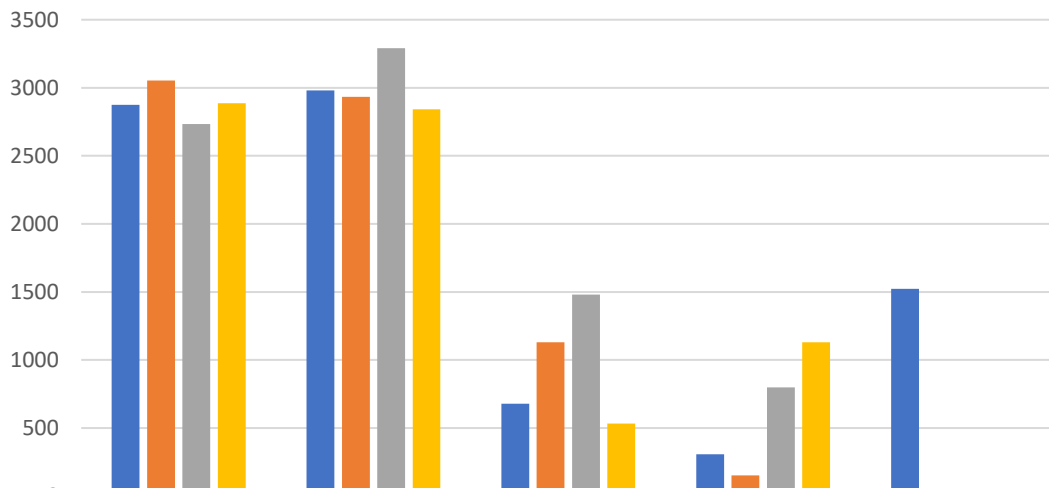
第1四半期

四半期別 売上高

第1四半期 **1,523百万円**

(対前年同期比497.6%)

(単位：百万円)



	2019/2期	2020/2期	2021/2期	2022/2期	2023/2期
■ 1Q	2876	2982	677	306	1523
■ 2Q	3053	2935	1130	152	
■ 3Q	2735	3292	1481	797	
■ 4Q	2886	2843	532	1130	

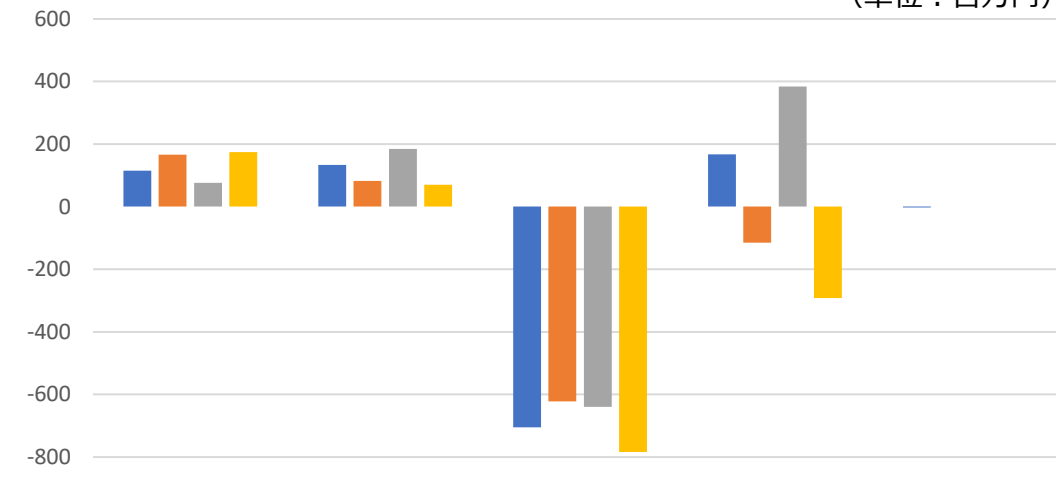
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

四半期別 純利益又は純損失

第1四半期 **▲3百万円**

(対前年同期差▲171百万円)

(単位：百万円)



	2019/2期	2020/2期	2021/2期	2022/2期	2023/2期
■ 1Q	115	133	-705	167	-3
■ 2Q	166	82	-622	-115	
■ 3Q	76	185	-640	384	
■ 4Q	174	70	-784	-292	

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

※コロナ禍の為、純利益又は純損失表記

(単位：百万円)	2022年2月期	2023年2月期	前年差	前年比
売上高	306	1,523	1,217	497.6%
売上原価	95	466	371	489.9%
原価率	31.1%	30.6%	▲0.5%	—
販売費及び一般管理費	579	1337	758	230.7%
営業利益又は営業損失	▲367	▲266	100	—
営業利益率	—	—	—	—
経常利益又は経常損失	▲369	▲274	94	—
経常利益率	—	—	—	—
特別利益	1,053	344	▲708	—
特別損失	555	95	▲460	17.2%
法人税等合計	▲38	▲21	16	—
当期純利益又は純損失	167	▲3	▲171	—
純利益率	54.6%	—	—	—

〈特別利益〉	
雇用調整助成金	59百万円
時短協力金	285百万円
〈特別損失〉	
臨時休業による損失	95百万円



# HUB 第1四半期業績サマリ (貸借対照表)

(単位：百万円)	2022年2月期 年度末	2023年2月期 第1四半期末	前期末差	
資 産 合 計	7,661	7,883	171	
流動資産	5,061	5,275	213	・主に現金及び預金増加の為
固定資産	2,599	2,557	▲41	
負 債 合 計	5,087	5,307	219	
流動負債	1,632	1,971	339	・主に未払金・未払費用増加の為
固定負債	3,454	3,335	▲119	・主に長期借入金減少の為
純 資 産 合 計	2,573	2,525	▲47	・主に利益剰余金減少の為
自 己 資 本 比 率	33.6%	32.2%	▲1.4%	
有 利 子 負 債	3,861	3,784	▲77	



# 2023年2月期第 2 四半期について

## 継続的なキャンペーン開催



各種キャンペーンを継続的に実施。  
販売数は順調に推移。

## 新たなコンテンツとのコラボ



ミクシグループ関連のアニメーションコンテンツと初のコラボレーション企画が好評。

## スポーツとのシナジー創出



試合放映イベントの集客が伸びてきており、  
スポーツ関連の企画も実施。

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ハブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先  
株式会社ハブ 経営企画部 IR担当  
TEL : 03-3526-8682  
<https://www.pub-hub.co.jp/contact/>